

就職最前線

席

進路指導部

公共交通機関に設置された『優先席』。しかし、そのほとんどが設置目的通りには機能していないのが現実である。

一体どうしてだろうか？

それは自分だけがよければいいと考える現代の風潮に起因するものなのか。そもそも「優先席」が存在すること自体、とても淋しい気がするのに。

このような世の中に、障害のある生徒たちを送り出していかなければならない、これもまた現実である。

残された「情」を掘り起こし、隠れた「ご縁」を紡ぎ合わせながら、彼らの確固たる「席」を用意していく。これが、私たち進路指導部の仕事だと考える。

昨日も外に出た。本日も出張、明日も予定が入っている。大切な「席」を用意する為に。機能しない「優先席」を横目に見ながら。